

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

楽しい時間は、あっという間にすぎてしまいます。反対に、病院の待合室で名前をよばれるのを待っているときは、時間がなかなか進まないように感じます。時計は同じ速さで進んでいるはずなのに、なぜ、このような感じが生まれるのでしょうか。

一つの考え方は、時間に気がつく回数がちがうということです。待っているときは、ほかにすることがないので、つい何度も時計を見てしまいます。見るたびに「まだこれだけしかたっていない」と気づくので、時間が長く感じられるのです。一方、友だちと遊んでいるときは、夢中になって、時計のことなどわすれています。ふと気づいたときには、もう帰る時間になっている、というわけです。

ところが、ふしぎなことに、あとから思い出すときには、これが反対になることがあります。遠足のように楽しいことがたくさんあった日は、思い出すことが多いので、長く、中身のつまった一日だったように感じられます。何もせずに待っていただけの時間は、思い出すことがほとんどないので、短く感じられるのです。

このように、わたしたちが感じる時間の長さは、時計の時間とはちがいます。その時間をどうすごしたかによって、のびたりちぢんだりするのです。

(この問題のための書き下ろし)

問一 待っているときに時間が長く感じられるのは、何をしてしまうからですか。「くしまいまず」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

何 度 も 時 計 を 見 て

問二 「これが反対になることがあります」とありますが、どういうことですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア 楽しい時間は、その場にいるときも長く感じられること。

イ あとから思い出すと、楽しかった時間のほうが長く感じられること。

ウ 待っていた時間は、あとから思い出すと長く感じられること。

イ

問三 遠足の日が、あとから思い出すと長く感じられるのはなぜですか。四十字までで書きましょう。

一	あ	い	楽
日	り	出	し
に	、	す	こ
感	中	こ	と
じ	身	と	が
る	の	が	多
か	つ	た	く
ら	ま	く	て
。	っ	さ	ん
	た	ん	思

問四 この文章の書き方として、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア 時計の仕組みを、順番にくわしく説明している。

イ 待ち時間を短くする方法を、三つ挙げている。

ウ 時間の感じ方を、その場にいるときと、あとから思い出すときに分けてくらべている。

ウ

【小5】国語 文章問題 説明文 5 答えと解説

問一（二十五点） 答え：何度も時計を見て

解説：二つ目のまとまりの「つい何度も時計を見てしまいます」から。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：三つ目のまとまりから。その場では短く感じた楽しい時間が、思い出すときには長く感じられる。アはその場の話ではない。ウは本文と反対。

問三（二十五点） 答えの例：楽しいことが多くて思い出すことがたくさんあり、中身のつまった一日に感じるから。

解説：三つ目のまとまりから。「思い出すことが多い」ことと「中身がつまって感じられる」ことの二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①楽しいことがたくさんあって、思い出すことが多い
- ②中身のつまった一日だったように感じられる

問四（二十五点） 答え：ウ

解説：二つ目のまとまりでその場での感じ方、三つ目のまとまりで思い出すときの感じ方を説明し、最後にまとめている。ア・イは本文に書いていない。